

おだち源幸

●編集 / 発行
参議院議員
おだち源幸

連絡先〒540-0026
大阪市中央区内本町1-2-8TSKビル6F
TEL:06-6920-4080 FAX:06-6920-4118
Eメール:info@odachi.com



大阪市の
廃止・分割構想を
阻止できませんでした。
市民の皆さんの
判断の結果
です。

これからは、
反対派も賛成
派も、
みんなで一緒になって、
新しい大阪をつくる
改革を進めましょう！

今月の
主張

おだちがとめる

おだちの活動 コツコツ

税制

- 納税環境整備:税務調査手続き明確化など、**納税者の権利強化**
- 年金税制:年金所得者の申告負担を軽減 (多くの方が申告不要に)
- 雇用促進税制の創設:日本の歴史で初めて創設
- 市民公益税制の創設:
新しい公共担い手増加のための寄付税制を創設
- 中小企業法人税率下げ(22%→18%→15%)
- 事業仕分け(税の見える化)
- エキスポランド跡地の大阪府への移管について
財務省と折衝
- ボランティアサポート募金:
赤い羽根募金が行った、初めてNPOなどの
活動費にあてられる寄付金優遇措置を決定

経済

環境

- シベリア特措法成立に貢献
- 北方領土返還運動に取り組む
(北方領土視察、日口協会理事長など)
- 公会計法案 ●租特透明化法案 ●会社法改正案
- 歳入庁法案 ●自然エネルギーの普及
- 堺メガソーラー実現への支援 ●動物愛護法改正

福祉

住民投票を終えて!



大阪市の廃止・分割構想を阻止するためにできることは、党派を超えて精一杯頑張りました。



参議院 総務委員会
(2015年5月12日)

高市総務大臣に質問を行い「いったん大阪市を廃止して特別区をつくってしまったら、政令指定都市に戻れない」ことや「2700億円の財政効果は協定書に含まれていない」などを確認しました。

今月の ● 安全保障法制についての審議がはじまりました。

政府は5月15日、米軍への後方支援など自衛隊の海外活動を飛躍的に拡大する安全保障関連法案を閣議決定しました。主な論点を示します。

集団的自衛権

周辺事態法の改正

政府・与党	我が国と密接な関係にある他国に対する武力攻撃が発生した場合における実力行使の「新3要件」を満たせば、集団的自衛権行使を可能とする。	「周辺」概念の撤廃、地理的制約を外す。 米軍以外の他国軍への支援解禁し、外国領域でも支援可能とする。 「現に戦闘を行っている現場」以外での支援も解禁。
民主党	専守防衛に徹し、現実的で責任ある安保政策を追求する。安倍政権の進める集団的自衛権には反対。 * 「切れ目のない」という名の下の「歯止めのない」拡大に反対。「新3要件」では歯止めにならない。	「周辺」概念を堅持する。地理的制約は撤廃しない。 * 自衛隊がどこにでも行けてしまわないように。

- 個別的自衛権: 他国からの武力攻撃に対し、実力をもってこれを阻止・排除する権利。日本も保有しており、そのために自衛隊がある。
- 集団的自衛権: 国連憲章に定められた権利で、自国が攻撃を受けていなくても同盟国と共に又は、同盟国に代わって反撃する権利。
- * ちなみに、第2次大戦後の戦争は、個別的自衛権ではなく集団的自衛権の発動として行われています。
(例 ソ連:ハンガリー動乱、チェコスロバキア動乱、アメリカ:ベトナム戦争、アフガニスタン戦争など)



考え

「専守防衛の原則」に基づき、わが国の平和と安全を直接的に脅かす急迫不正の侵害を受けた場合に限り、憲法第9条に則り自衛権を行使すべきです。

労働法制についても

5月12日より始まった労働者派遣法改悪の審議。5月15日に連合が行った国会前での座り込み行動に、私も参加をして参りました。規制を緩め、ルールが曖昧なままの改悪は許さないと訴えて参りました。

おだちの生い立ち



▲二年生で参加したボーイスカウトにて



▲六年生の頃行った修学旅行「大阪市立電気科学館」にて

おだち少年は幼稚園を卒園後、親の転勤により見知らぬ土地へ引越します。小学校入学時は友達もおらず独り泣いていました。しかし、すぐに持ち前の明るさで新天地での友達も増え、いたずら好きの小学生時代を送りました。

二年生の時にカブスカウトに入り、規律ある人間関係を学びます。四年生の時にまた、引越しが決まり寂しい想いをしますが五年生、六年生を過ごした新たな地で毎日元気いっぱい走り回るおだち少年でありました。

この頃の夢は、「日本を代表する大きな心を持った外交官になる」でした。

つづく……

事務所スタッフの ((生声)) アチャッ

約140万人の住民投票



大阪
スタッフ



秘書
N.Kさん

17日の投開票に向け、我々秘書も毎日活動をしてきました。当初、ポスターの掲示をお願いしても、怒鳴られたり中々話を聞いてもらえないことが多々ありましたが、説明を重ねると徐々に有権者の皆様にもご理解頂き、協力的な方が増えられたのを肌で感じました。来るべき、おだち議員の戦いに向けて多くの方に協力していただけるよう、おだち議員と共に全力で日々の活動に取り組んで行きます!

安倍政権の暴走



東京
スタッフ



秘書
A.Kさん

安倍政権が暴走気味に進めている安保法制と労働法制は、「いのち」、「暮らし」に関わる大変重要な法案です。問題が山積しているこれらの法案をしっかりと審議していくのがおだち議員の役目です。おだち議員を支える立場としても、おだち議員と志を共にし、これらの法案に臨んでいく覚悟です。